



お世話になった人たちの巻

個性派揃いのガイドさんたち

ランズエンド→ミナックシアター→セントマイケルズマウントを案内してくれたガイドさんは、コーンウォールをこよなく愛する折目正しいコーニッシュ紳士。ロンドンに出張で行くと一刻も早く帰りたくなるのだそう。



魔女博物館→ティンタジェル城跡を案内してくれた魔法使い研究をしているご夫婦。

魔女博物館では「今日の博物館はすごかった、精霊が集まっていたね」とさりげなくおっしゃったのが印象的。ティンタジェル城跡でのアーサー王即興劇、素敵でした！

グラストンベリー界限を担当して下さったのは、「脅威のダウジング」の作者で鏡さんが翻訳を手がけたことがある、シグ ロングレンさん。さすがはダウジングの権威！常にロッド・ダウジング（L字に曲がった棒）を持ち歩いているのでした。



ツアーを率いてくれたのは、DHE Corporationの柳原秀哉社長（右端）。社長(!)にも関わらず身軽かつ、細やかな気遣いと手際よさで一番動いていらっしゃいました！ 社長、おつかれさま！



鏡さんをイケメンに仕立て上げるのは、沖縄出身のヘアメイク我那覇智くん。サトシくんが現れると常に笑いがたえないという人気者。ツアーのお客さんたちからも愛されていました。

鏡さんと石に抱かれているのはカメラマンの工藤憲二さん。通常は温泉&宿がお得意のフォトグラファーですが、今回は鏡さんの愛らしい表情をとらえていただきました。ロンドンのフリーメイソン・ホールでは議会場から閉めだされ、半ベそかいていました（笑）

Kudo Kenji Photograph
kudopix.com/

